



**HRD共同調査とは、HIV感染症治療薬の
市販後における使用実態、安全性に関する調査です。**

HIV 感染症治療薬共同使用成績調査

2023 年報告書 追補版

(1997 年 8 月 ～ 2023 年 3 月)

医療関係者各位

HIV 感染症治療薬(抗 HIV 薬及び HIV 関連疾患治療薬)共同使用成績調査(以下、本調査)へご協力頂きありがとうございました。

本調査にて収集された当該薬剤の使用実態、有効性及び安全性についての情報を医療の現場にフィードバックするため、1997 年調査開始時より年度毎に調査結果の概要を別途、冊子としてまとめてきておりますが、本調査結果の概要について、簡潔にまとめた追補版の小冊子を作成いたしました。本小冊子が診療のご参考になれば幸いと考えております。

なお、本小冊子は、HIV 診療に携わる専門医の先生方のご意見を参考に作成致しました。

2023 年 12 月

HRD共同調査協議会

ヴィーブヘルスケア株式会社

MSD株式会社

ギリアド・サイエンシズ株式会社

ヤンセンファーマ株式会社

シミック株式会社(CRO:調査受託会社)

HIV 感染症治療薬共同使用成績調査

2023 年報告書 追補版

(1997 年 8 月 ～ 2023 年 3 月)

目次

調 査 対 象 薬 剤	1
解 析 結 果	4
＜調査対象全症例における治療開始後の CD4 数の推移＞	5
【安全性・有効性解析対象症例】	
・ 治療開始後の CD4 数の推移	
・ 治療経験が無い患者における治療開始後の CD4 数の推移 （2001 年 3 月以前に治療開始した症例） （2001 年 4 月から 2010 年 3 月に治療開始した症例） （2010 年 4 月以降に治療開始した症例）	
・ 治療経験が有る患者における治療開始後の CD4 数の推移 （2001 年 3 月以前に治療開始した症例） （2001 年 4 月から 2010 年 3 月に治療開始した症例） （2010 年 4 月以降に治療開始した症例）	
＜調査対象全症例における治療開始後の CD4 数の推移＞	6
【安全性・有効性解析対象症例】	
・ 治療開始後の CD4 増加数の推移	
・ 治療経験が無い患者における治療開始後の CD4 増加数の推移 （2001 年 3 月以前に治療開始した症例） （2001 年 4 月から 2010 年 3 月に治療開始した症例） （2010 年 4 月以降に治療開始した症例）	
・ 治療経験が有る患者における治療開始後の CD4 増加数の推移 （2001 年 3 月以前に治療開始した症例） （2001 年 4 月から 2010 年 3 月に治療開始した症例） （2010 年 4 月以降に治療開始した症例）	
＜調査対象全症例における治療開始後の HIV-RNA コピー数の推移＞	7
【安全性・有効性解析対象症例】	
・ 治療開始後の HIV-RNA コピー数の推移	
・ 治療経験が無い患者における治療開始後の HIV-RNA コピー数の推移 （2001 年 3 月以前に治療開始した症例） （2001 年 4 月から 2010 年 3 月に治療開始した症例） （2010 年 4 月以降に治療開始した症例）	
・ 治療経験が有る患者における治療開始後の HIV-RNA コピー数の推移 （2001 年 3 月以前に治療開始した症例） （2001 年 4 月から 2010 年 3 月に治療開始した症例） （2010 年 4 月以降に治療開始した症例）	
＜調査対象全症例における治療開始時期別生存率＞	8
【安全性・有効性解析対象症例】	

- ・ HRD 共同調査生存率
治療開始時期で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率

＜調査対象全症例における治療開始時期別生存率(AIDS 指標疾患による死亡)＞……………9

【安全性・有効性解析対象症例】

- ・ HRD 共同調査生存率
治療開始時期で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率

＜調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(全死亡)＞……………10

【安全性・有効性解析対象症例】

- ・ HRD 共同調査生存率
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率

＜調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(全死亡)＞……………11

【安全性・有効性解析対象症例】

- ・ HRD 共同調査生存率
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 3 月以前に治療開始した症例)
- ・ HRD 共同調査生存率
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 4 月から 2010 年 3 月に治療開始した症例)
- ・ HRD 共同調査生存率
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2010 年 4 月以降に治療開始した症例)

＜調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(AIDS 指標疾患による死亡)＞……………12

【安全性・有効性解析対象症例】

- ・ HRD 共同調査生存率(AIDS 指標疾患による死亡)
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率

＜調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(AIDS 指標疾患による死亡)＞……………13

【安全性・有効性解析対象症例】

- ・ HRD 共同調査生存率(AIDS 指標疾患による死亡)
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 3 月以前に治療開始した症例)
- ・ HRD 共同調査生存率(AIDS 指標疾患による死亡)
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 4 月から 2010 年 3 月に治療開始した症例)
- ・ HRD 共同調査生存率(AIDS 指標疾患による死亡)
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2010 年 4 月以降に治療開始した症例)

＜調査対象全症例における治療開始時の年齢別生存率＞……………14

【安全性・有効性解析対象症例】

- ・ HRD 共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率

＜調査対象全症例における治療開始時の年齢別生存率＞……………15

【安全性・有効性解析対象症例】

- ・ HRD 共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 3 月以前に治療開始した症例)
- ・ HRD 共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 4 月から 2010 年 3 月に治療開始した症例)
- ・ HRD 共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2010 年 4 月以降に治療開始した症例)

＜治療経験が無い患者(naive 患者)の治療開始時の CD4 数及び HIV-RNA コピー数＞……16

【安全性・有効性解析対象症例】

- ・ 治療開始時の CD4 数
- ・ 併用療法薬剤変更時の CD4 数
- ・ 治療開始時の HIV-RNA コピー数
- ・ 併用療法薬剤変更時の HIV-RNA コピー数

調査対象薬剤

HIV 感染症治療薬の共同使用成績調査に合意している会社薬剤

(2023 年 3 月現在再審査期間中の市販薬剤)

医薬品名	薬剤名(略号)	再審査期間
スタビル [®] 配合錠	エルビ [®] テグ [®] ラビル/コビ [®] シスタット/エムトリシタビ [®] ン /テノホビル シ [®] ソフ [®] ロキシル [®] フマル 酸 塩 (EVG/COBI/FTC/TDF)	2013 年 3 月～2023 年 3 月
デビ [®] ケイ錠 50mg	ドルテグ [®] ラビル (DTG)	2014 年 3 月～2024 年 3 月
トリ [®] メク配合錠	ドルテグ [®] ラビル/アバ [®] カビル [®] 流酸塩/ラミブ [®] ジン (DTG/ABC/3TC)	2015 年 3 月～2024 年 3 月
ゲン [®] ホ [®] イヤ配合錠	エルビ [®] テグ [®] ラビル/コビ [®] シスタット/エムトリシタビ [®] ン/ テノホビル ア [®] ラフェナミト [®] フマル 酸 塩 (EVG/COBI/FTC/TAF)	2016 年 6 月～2026 年 6 月
プレ [®] ジ [®] コビ [®] ックス配合錠	ダ [®] ルナビル エタノール付加物/コビ [®] シスタット (DRV/COBI)	2016 年 11 月～2023 年 3 月
デ [®] シコビ [®] 配合錠 LT	エムトリシタビ [®] ン/テノホビル ア [®] ラフェナミト [®] フマル酸塩	2016 年 12 月～2026 年 6 月
デ [®] シコビ [®] 配合錠 HT	(FTC/TAF)	
アイ [®] セントレス錠 600mg	ラルテグ [®] ラビル (RAL)	2018 年 5 月～2024 年 5 月
オ [®] デ [®] フシ配合錠	リルビ [®] ビ [®] リン塩酸塩/テノホビル ア [®] ラフェナミト [®] フマ ル酸塩/エムトリシタビ [®] ン (RPV/TAF/FTC)	2018 年 8 月～2026 年 6 月
ジ [®] ャルカ配合錠	ドルテグ [®] ラビルナトリウム/リルビ [®] ビ [®] リン塩酸塩 (DTG/RPV)	2018 年 11 月～2024 年 11 月
ビ [®] クタルビ [®] 配合錠	ビ [®] クテグ [®] ラビルナトリウム/エムトリシタビ [®] ン/テノホビル ア [®] ラフェナミト [®] フマル酸塩 (BIC/FTC/ TAF)	2019 年 3 月～2029 年 3 月
シム [®] ツーザ [®] 配合錠	ダ [®] ルナビル/コビ [®] シスタット/エムトリシタビ [®] ン/テノホビ [®] ル ア [®] ラフェナミト [®] フマル酸塩	2019 年 6 月～2026 年 6 月
ド [®] ウ [®] ベイト [®] 配合錠	ドルテグ [®] ラビルナトリウム/ラミブ [®] ジン	2020 年 1 月～2026 年 1 月
ビ [®] フェルトロ錠 100mg	ド [®] ラビ [®] リン	2020 年 1 月～2030 年 1 月
ホ [®] カ [®] フ [®] リア錠 30mg, 水懸筋注 400mg, 600mg	カ [®] ホ [®] テグ [®] ラビルナトリウム, カ [®] ホ [®] テグ [®] ラビル (CAB)	2022 年 5 月～2032 年 5 月
リ [®] カ [®] ムビ [®] ス水懸筋注 600 mg, 900 mg	リルビ [®] ビ [®] リン (RPV)	2022 年 5 月～2032 年 5 月

(参考:2023 年 3 月現在再審査期間が終了している薬剤)

医薬品名	薬剤名(略号)	再審査期間
エビヒル錠 150, 300	ラミブジン (3TC)	1997 年 2 月～2007 年 2 月
コンビヒル配合錠	ジドブジン (AZT)・ラミブジン (3TC)	1999 年 6 月～2007 年 2 月
クリキパ ^ン カ ^フ セル ^{※1}	インジナビル硫酸塩 (IDV)	1997 年 3 月～2007 年 3 月
点滴静注用ホカビル	ホスカルネートナトリウム水和物	1997 年 3 月～2007 年 3 月
ゼリットカ ^フ セル ^{※1}	ザニルブジン (d4T)	1997 年 7 月～2007 年 7 月
デノシンカ ^フ セル ^{※1}	ガンスクロビル	1997 年 7 月～2007 年 7 月
インビラセ ^フ カ ^フ セル ^{※1}	サキナビルメシル酸塩 (SQV-HGC)	1997 年 9 月～2007 年 9 月
ノービア内用液・ソフトカ ^フ セル ^{※1}	リトナビル (RTV)	1997 年 11 月～2007 年 11 月
ビラセ ^フ ト錠 250mg	ネルフィナビルメシル酸塩 (NFV)	1998 年 3 月～2008 年 3 月
クラリス錠・ト ^ラ イシロ ^フ	クラリスロマイシン (CAM)	1998 年 9 月～2008 年 9 月
クラリシ ^ト 錠・ト ^ラ イシロ ^フ	クラリスロマイシン (CAM)	1998 年 9 月～2008 年 9 月
ビラミューン錠	ネビラピン (NVP)	1998 年 11 月～2008 年 11 月
ザイアジエン錠	アバカビル硫酸塩 (ABC)	1999 年 9 月～2009 年 9 月
ストックリン錠 200mg, 600mg	エファビレンツ (EFV)	1999 年 9 月～2009 年 9 月
カレトラ配合錠・配合内用液	ロピナビル (LPV)・リトナビル (RTV)	2000 年 12 月～2010 年 12 月
エプジコム配合錠	ラミブジン (3TC)・アバカビル硫酸塩 (ABC)	2004 年 12 月～2010 年 12 月
ジスロマック錠 600mg	アジスロマイシン	2001 年 12 月～2011 年 12 月
カレトラ配合錠	ロピナビル (LPV)・リトナビル (RTV)	2011 年 4 月～2013 年 3 月 ^{※2}
レイアタツカ ^フ セル 150mg, 200mg	アタザナビル硫酸塩 (ATV)	2003 年 12 月～2013 年 12 月
ビリアード錠 300mg	テノホビル ジ ソ ^フ ロキシルマル酸塩 (TDF)	2004 年 3 月～2014 年 3 月
バリキサ錠 450mg	バルガンシクロビル塩酸塩	2004 年 11 月～2014 年 11 月
レクシヴァ錠 700	ホスアンプ ^レ ナビルカルシウム水和物 (fAPV)	2004 年 12 月～2014 年 12 月
エムトリバ ^フ カ ^フ セル 200mg	エムトリシタビン (FTC)	2005 年 3 月～2015 年 3 月
ツルバ ^ダ 配合錠	エムトリシタビン・テノホビル ジ ソ ^フ ロキシルマル酸塩 (FTC/TDF)	2005 年 3 月～2015 年 3 月
プリシスタ錠 300mg ^{※1}	ダルナビル (DRV)	2007 年 11 月～2017 年 11 月
プリシスタ錠 600mg	ダルナビル (DRV)	2014 年 12 月～2017 年 11 月
プリシスタナイ ^フ 錠 400mg ^{※1}	ダルナビル (DRV)	2009 年 8 月～2017 年 11 月
プリシスタナイ ^フ 錠 800mg	ダルナビル (DRV)	2013 年 7 月～2017 年 11 月
アイセントレス錠 400mg	ラルテグラビル (RAL)	2008 年 6 月～2018 年 6 月
ミコ ^フ テインカ ^フ セル 150mg	リファブチン	2008 年 7 月～2018 年 7 月
インテレンス錠 100mg	エトラビリン (ETR)	2008 年 12 月～2018 年 12 月
シーエルセントリ錠 150mg	マラビロク (MVC)	2008 年 12 月～2018 年 12 月
サムチレル内用懸濁液 15%	アトバコン	2012 年 1 月～2020 年 1 月
コム ^フ レ ^ラ 配合錠 ^{※1}	リルビ ^フ リン/テノホビル・ジ ソ ^フ ロキシルマル酸塩 /エムトリシタビン (RPV/TDF/FTC)	2014 年 11 月～2022 年 5 月
エジュラント錠 25mg	リルビ ^フ リン (RPV)	2012 年 5 月～2022 年 5 月

※1: クリキパ^ンカ^フセル・ゼリットカ^フセル・デノシンカ^フセル・インビラセ^フカ^フセル・ノービアソフトカ^フセル・プリシスタ錠 300mg・

プリジスタイブ錠 400mg・コムプレ配合錠は現在、販売されていません。

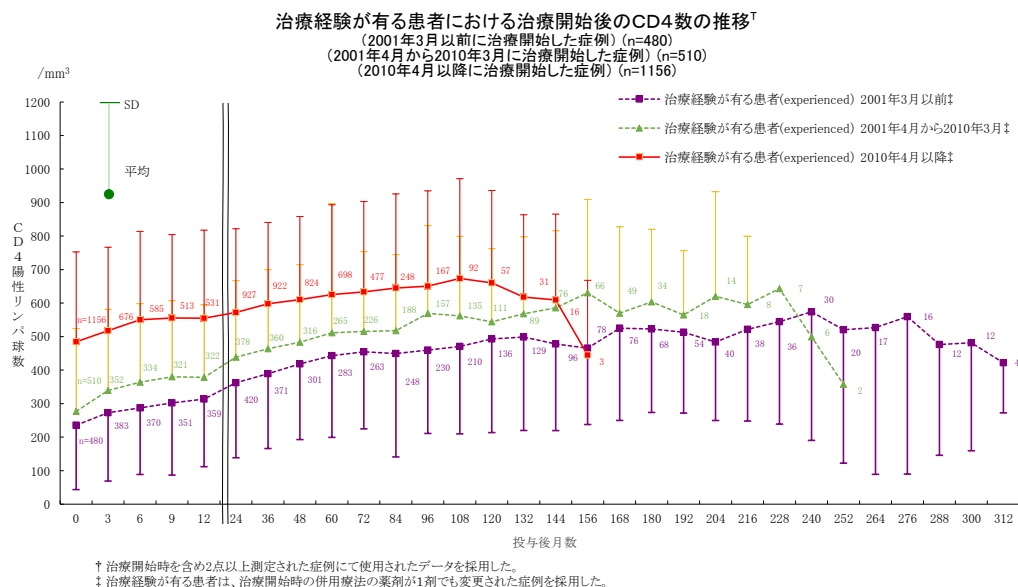
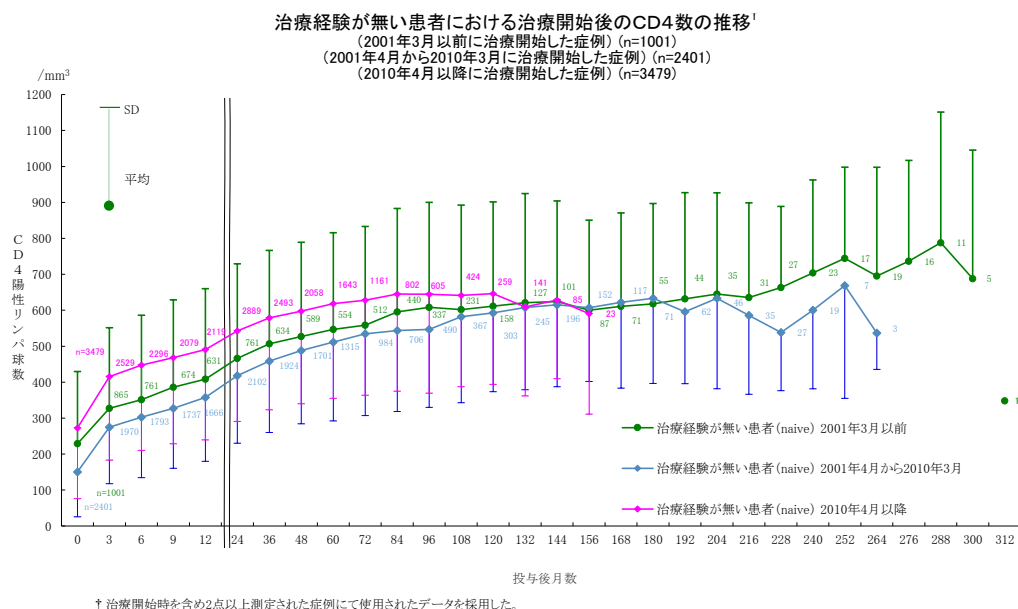
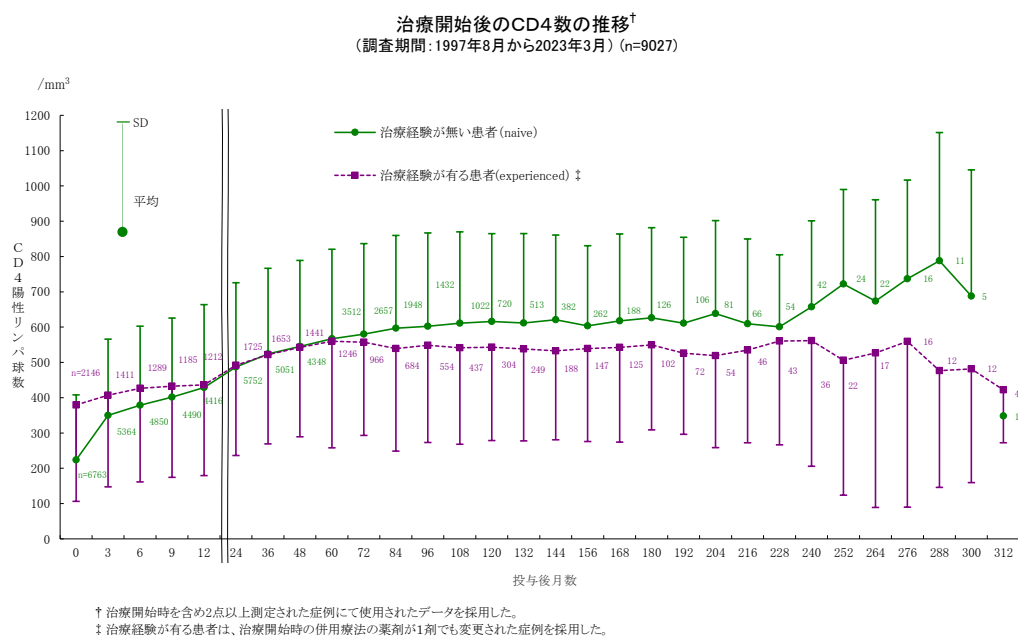
※2：カイトラ配合錠の用法追加（1日1回）は再審査対象ではないため調査期間を示しております。

解析結果

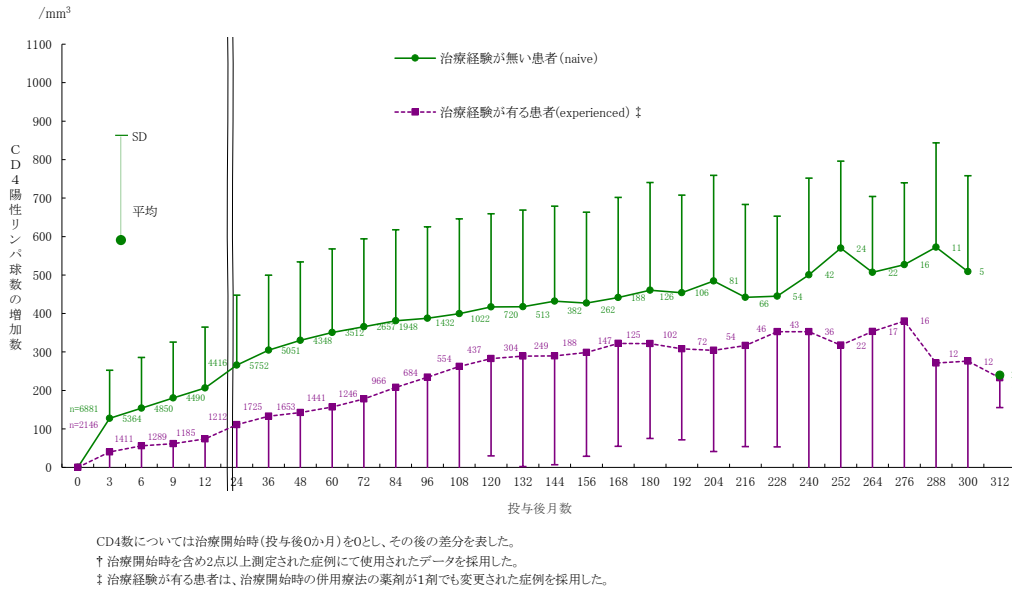
2023 年 8 月 10 日までに調査票を回収・固定し、かつ情報提供の承諾を頂いている症例(10,666 例)のうち、適応外の症例(HIV 感染症以外)を除外し、調査対象薬の抗 HIV 薬が使用された症例(10,577 例)を対象とした安全性・有効性解析対象症例を用いた。

各評価時期のデータは、投与開始時点(0 か月)は投与開始日－90 日以内、投与後月数が投与 12 か月後までは前後±45 日以内、投与 24 か月以降は前後±180 日以内の検査値を採用範囲とした。データ採用範囲内に観察あるいは測定が複数回実施されていた場合は、規定日に近い日付のデータを採用し、測定日が規定日前後で同じ日数の場合は、規定日より前のデータを採用した。

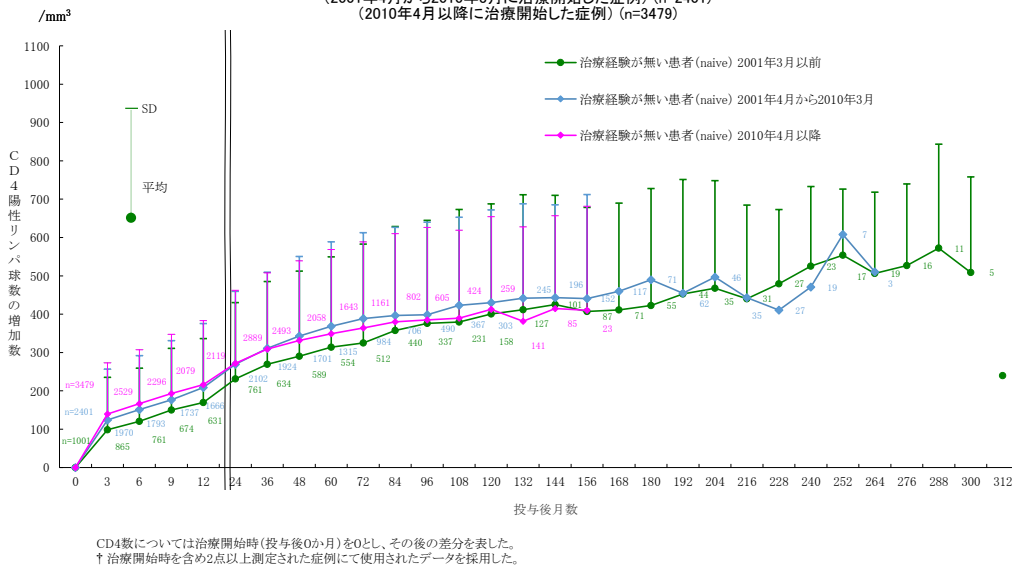
<調査対象全症例における治療開始後のCD4数の推移>



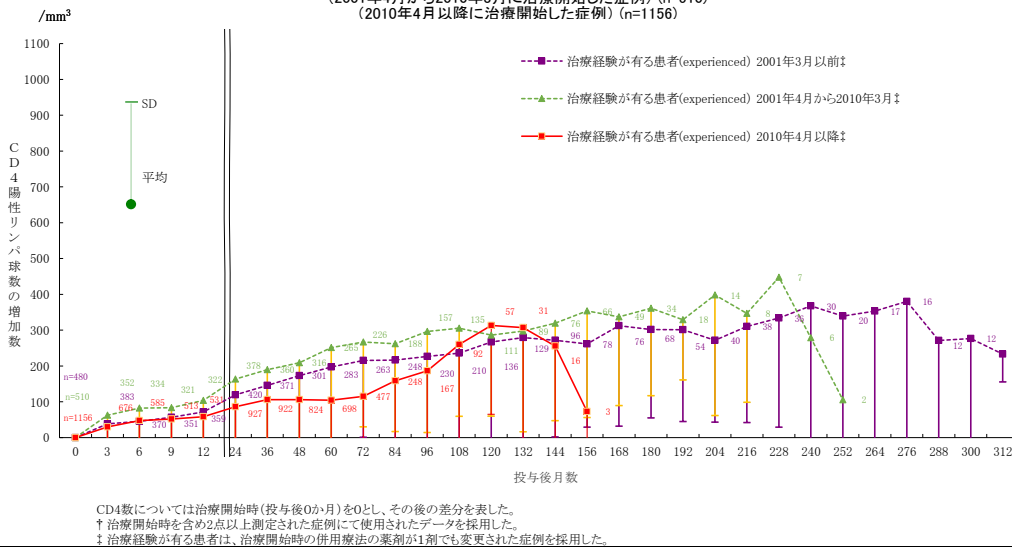
治療開始後のCD4増加数の推移[†]
(調査期間: 1997年8月から2023年3月) (n=9027)



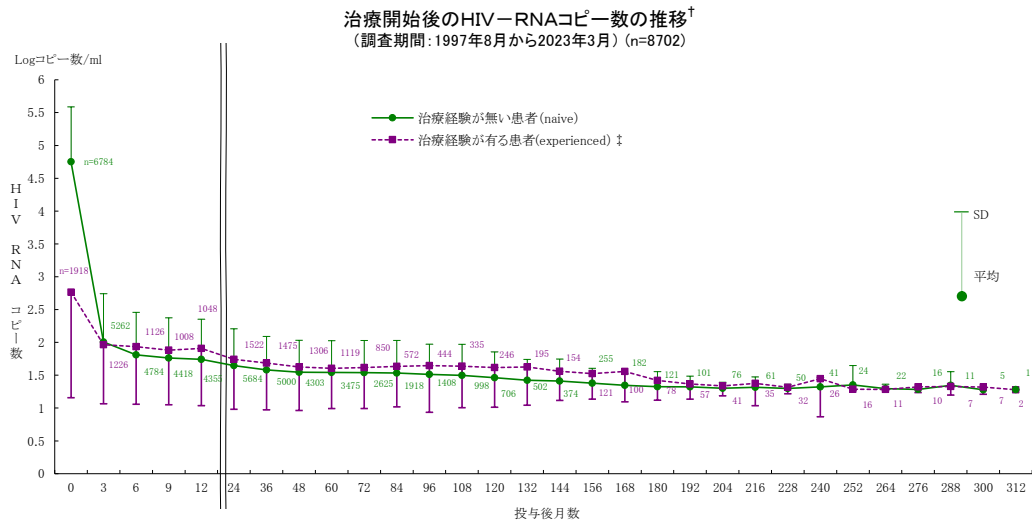
治療経験が無い患者における治療開始後のCD4増加数の推移[†]
(2001年3月以前に治療開始した症例) (n=1001)
(2001年4月から2010年3月に治療開始した症例) (n=2401)
(2010年4月以降に治療開始した症例) (n=3479)



治療経験が有る患者における治療開始後のCD4増加数の推移[†]
(2001年3月以前に治療開始した症例) (n=480)
(2001年4月から2010年3月に治療開始した症例) (n=510)
(2010年4月以降に治療開始した症例) (n=1156)



＜調査対象全症例における治療開始後のHIV-RNAコピー数の推移＞



[†] HIV-RNAコピー数のMean±S.D.は、対数変換後算出を行った。

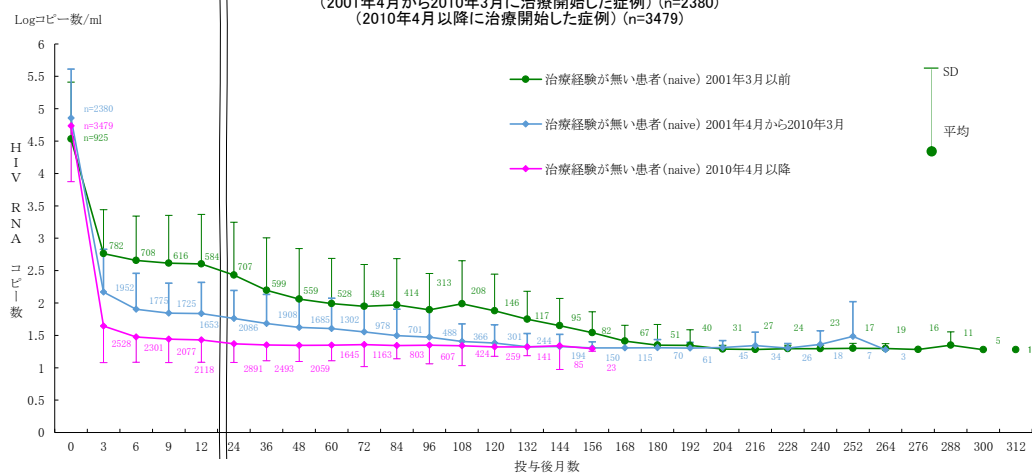
治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。

[‡] 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

HIV-RNAコピー数の検出限界値は、調査開始から2008年3月は399、2008年4月から2010年は39、2011年以降(施設により異なる)は19に読替えを行った。

治療経験が無い患者における治療開始後のHIV-RNAコピー数の推移[†]

(2001年3月以前に治療開始した症例) (n=925)
(2001年4月から2010年3月に治療開始した症例) (n=2380)
(2010年4月以降に治療開始した症例) (n=3479)



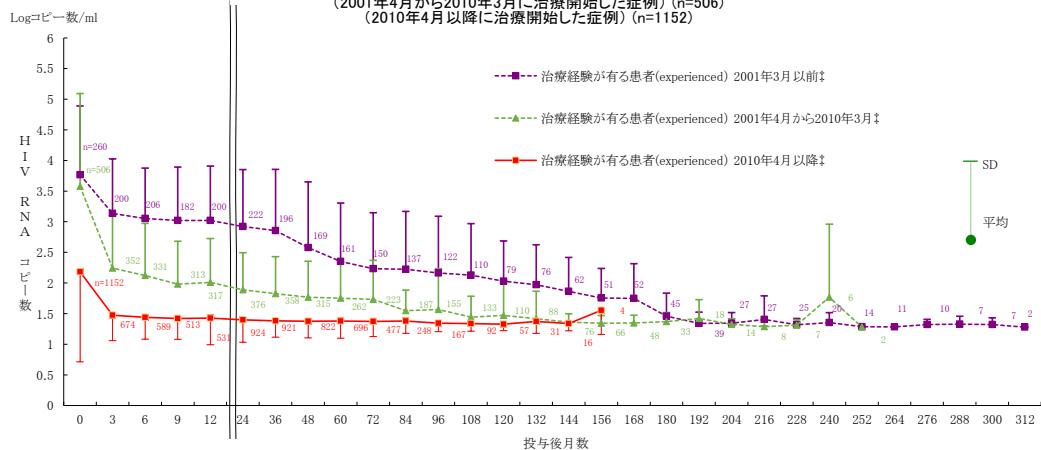
[†] HIV-RNAコピー数のMean±S.D.は、対数変換後算出を行った。

治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。

HIV-RNAコピー数の検出限界値は、調査開始から2008年3月は399、2008年4月から2010年は39、2011年以降(施設により異なる)は19に読替えを行った。

治療経験が有る患者における治療開始後のHIV-RNAコピー数の推移[†]

(2001年3月以前に治療開始した症例) (n=260)
(2001年4月から2010年3月に治療開始した症例) (n=506)
(2010年4月以降に治療開始した症例) (n=1152)



[†] HIV-RNAコピー数のMean±S.D.は、対数変換後算出を行った。

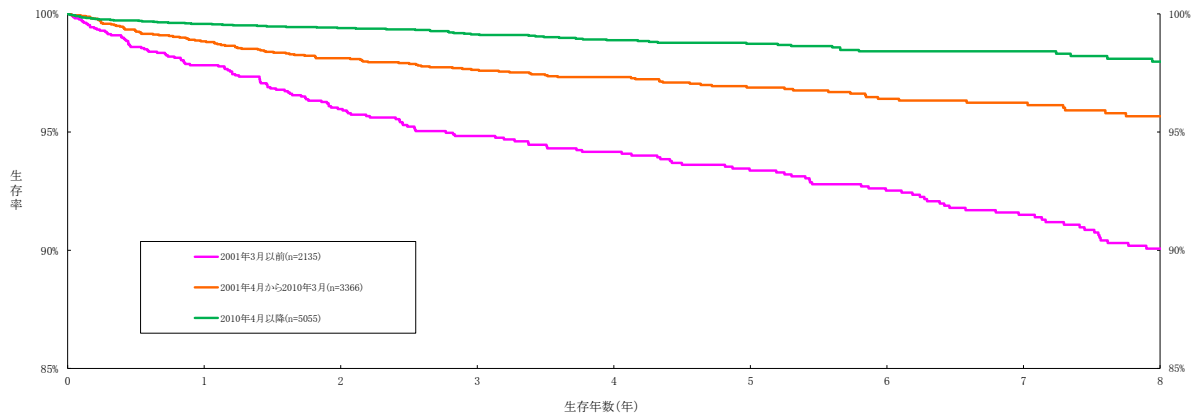
治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。

[‡] 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

HIV-RNAコピー数の検出限界値は、調査開始から2008年3月は399、2008年4月から2010年は39、2011年以降(施設により異なる)は19に読替えを行った。

<調査対象全症例における治療開始時期別生存率>

HRD共同調査生存率
治療開始時期で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(調査期間:1997年8月から2023年3月)



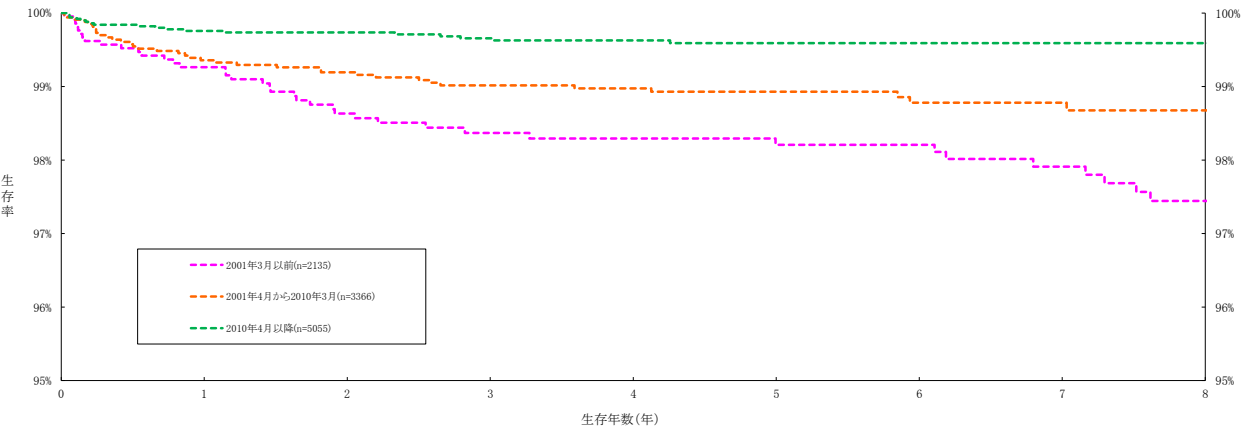
治療開始時期別の生存者数

治療開始時期	生存年数								
	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
2001年3月以前	2135	1842	1600	1341	1229	1155	1042	907	742
2001年4月から2010年3月	3366	3119	2886	2662	2242	1683	1289	956	708
2010年4月以降	5055	4551	4041	3559	3009	2487	1650	1050	769

治療開始時期別	Log rank test
2001年3月以前 vs 2001年4月以降	p=0.000 **
2010年3月以前 vs 2010年4月以降	p=0.000 **

<調査対象全症例における治療開始時期別生存率>

HRD共同調査生存率(AIDS指標疾患による死亡)
治療開始時期で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(調査期間: 1997年8月から2023年3月)



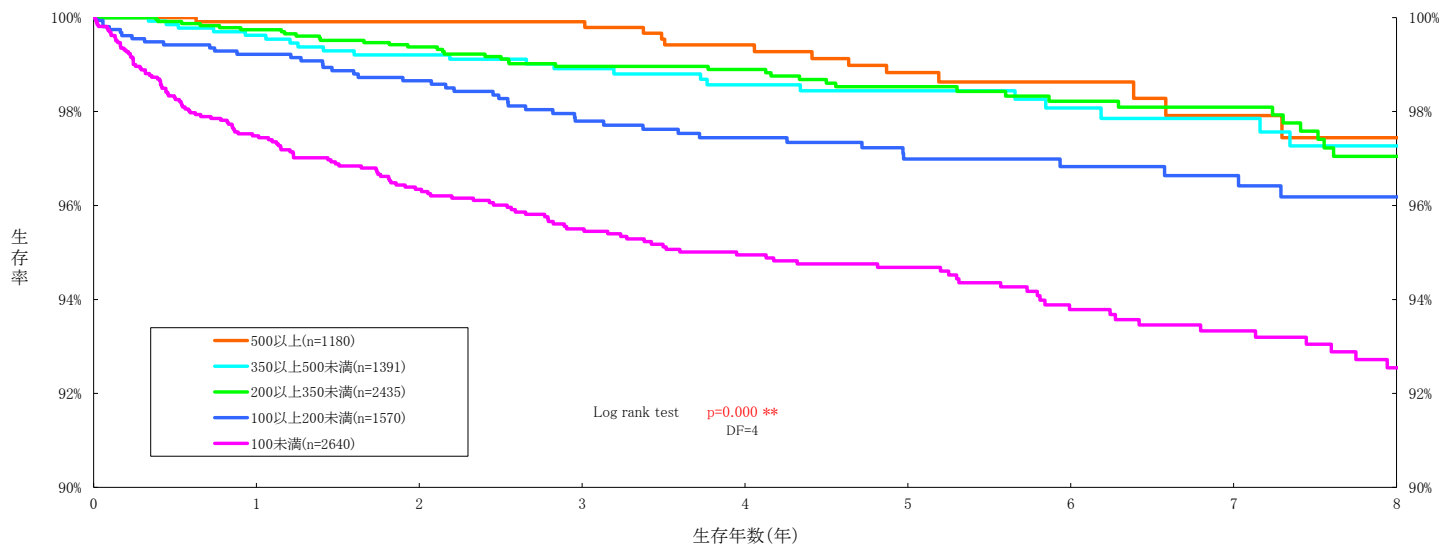
治療開始時期別の生存者数

治療開始時期	生存年数							
	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
2001年3月以前	2135	1842	1600	1341	1229	1155	1042	907
2001年4月から2010年3月	3366	3119	2886	2662	2242	1683	1289	956
2010年4月以降	5055	4551	4041	3559	3009	2487	1650	1050

治療開始時期別	Log rank test
2001年3月以前 vs 2001年4月以降	p=0.000 **
2010年3月以前 vs 2010年4月以降	p=0.000 **

<調査対象全症例における治療開始時のCD4数別生存率(全死亡)>

HRD共同調査生存率
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(調査期間:1997年8月から2023年3月)



治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。

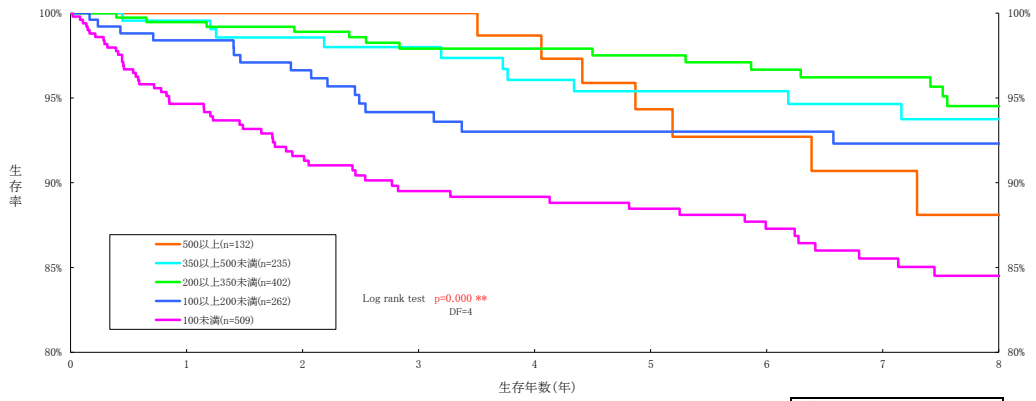
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	$p=0.000^{**}$
350未満 vs 350以上	$p=0.000^{**}$
200未満 vs 200以上	$p=0.000^{**}$
100未満 vs 100以上	$p=0.000^{**}$

治療開始時CD4数別の生存者数

治療開始時 CD4数	生存年数								
	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
<100	2640	2317	2053	1826	1573	1266	928	706	517
<200	1570	1447	1336	1182	1008	803	604	447	346
<350	2435	2222	2009	1768	1475	1170	877	627	480
<500	1391	1239	1069	948	829	708	517	365	270
500≦	1180	1067	954	874	763	648	432	232	150

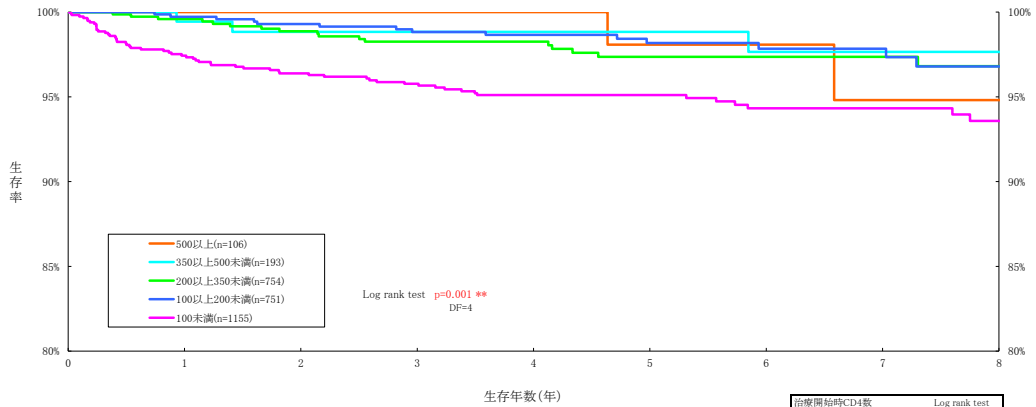
HRD共同調査生存率
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2001年3月以前に治療開始した症例)



治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

治療開始時CD4数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
<100	509	297	332	278	259	249	212	176	144
<200	262	236	207	169	157	145	135	126	101
<350	402	363	325	277	255	241	224	190	147
<500	235	208	177	153	146	138	128	109	93
500以上	132	112	97	81	72	60	52	37	29

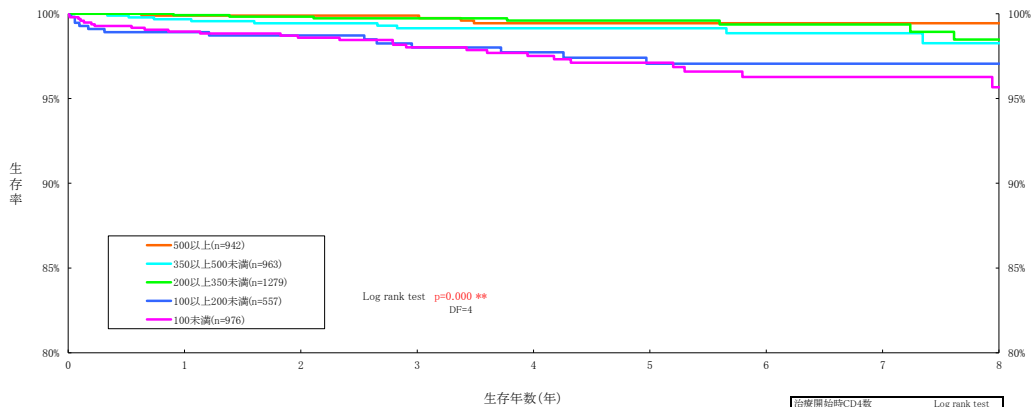
HRD共同調査生存率
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2001年4月から2010年3月に治療開始した症例)



治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

治療開始時CD4数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
<100	1155	1054	963	896	773	680	434	326	218
<200	751	709	671	626	529	389	289	197	148
<350	754	706	662	605	488	356	276	194	143
<500	193	173	154	136	116	93	80	66	50
500以上	106	97	81	72	60	44	37	27	22

HRD共同調査生存率
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2010年4月以降に治療開始した症例)

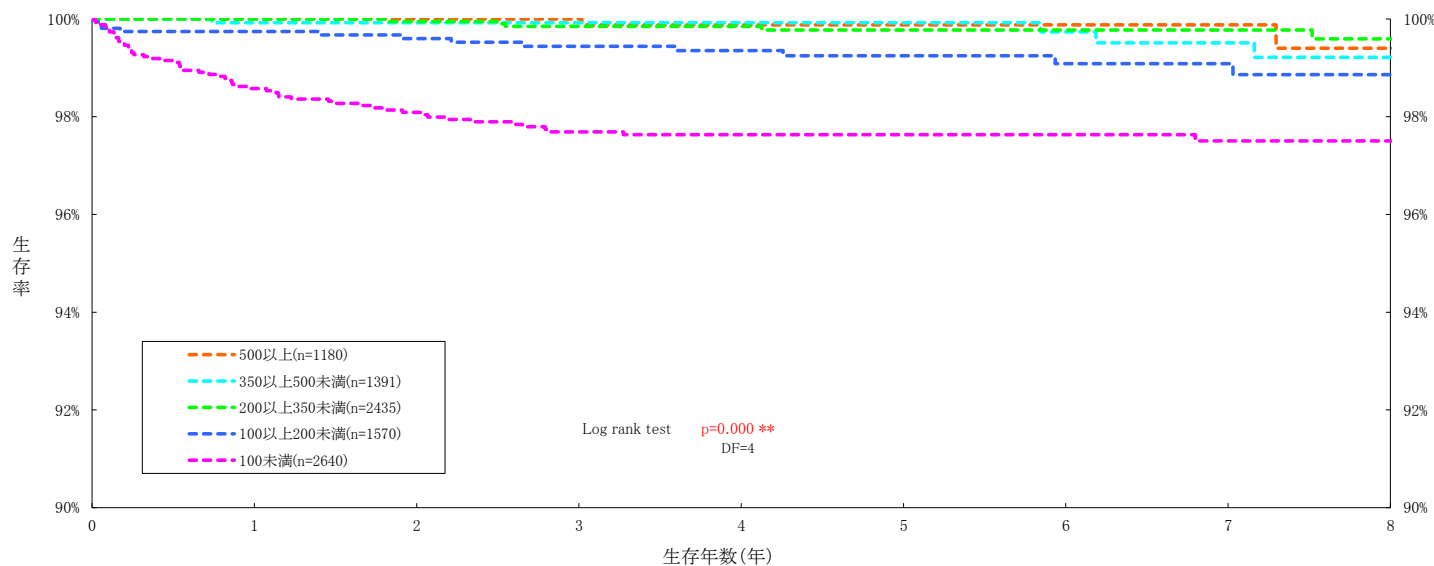


治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

治療開始時CD4数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
<100	976	866	758	632	541	437	282	204	155
<200	557	502	458	387	322	269	180	124	97
<350	1279	1153	1022	886	732	573	377	243	190
<500	963	858	738	659	567	472	309	190	127
500以上	942	858	776	721	631	544	343	165	99

<調査対象全症例における治療開始時のCD4数別生存率(AIDS指標疾患による死亡)>

HRD共同調査生存率(AIDS指標疾患による死亡)
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(調査期間:1997年8月から2023年3月)



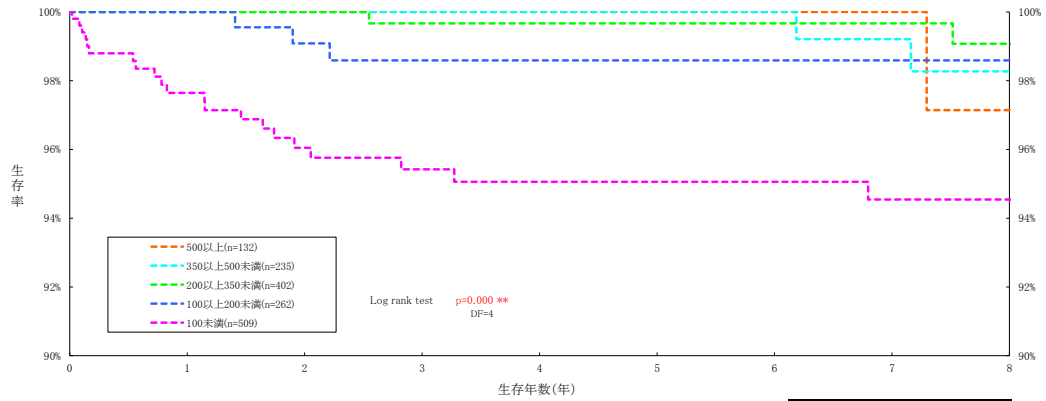
治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や
治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	$p=0.006^{**}$
350未満 vs 350以上	$p=0.000^{**}$
200未満 vs 200以上	$p=0.000^{**}$
100未満 vs 100以上	$p=0.000^{**}$

治療開始時CD4数別の生存者数

治療開始時 CD4数	生存年数								
	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
<100	2640	2317	2053	1826	1573	1266	928	706	517
<200	1570	1447	1336	1182	1008	803	604	447	346
<350	2435	2222	2009	1768	1475	1170	877	627	480
<500	1391	1239	1069	948	829	708	517	365	270
500≤	1180	1067	954	874	763	648	432	232	150

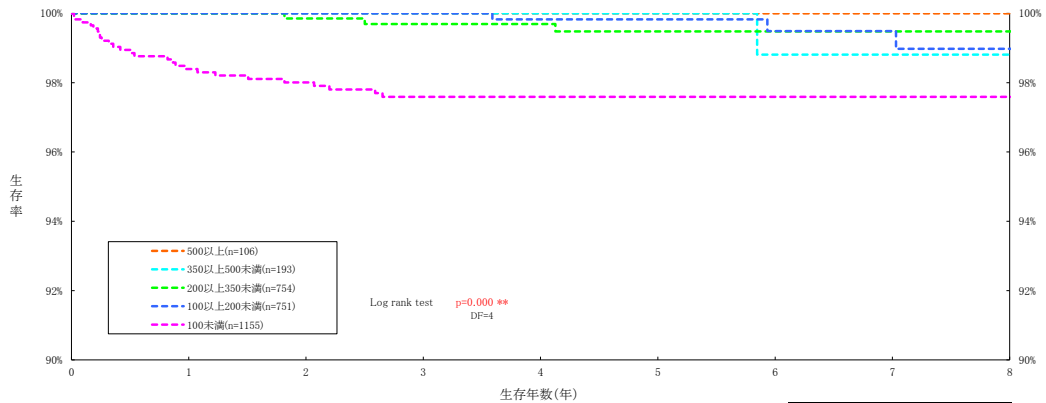
HRD共同調査生存率(AIDS指標疾患による死亡)
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2001年3月以前に治療開始した症例)



治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や
治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.359
350未満 vs 350以上	p=0.086
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

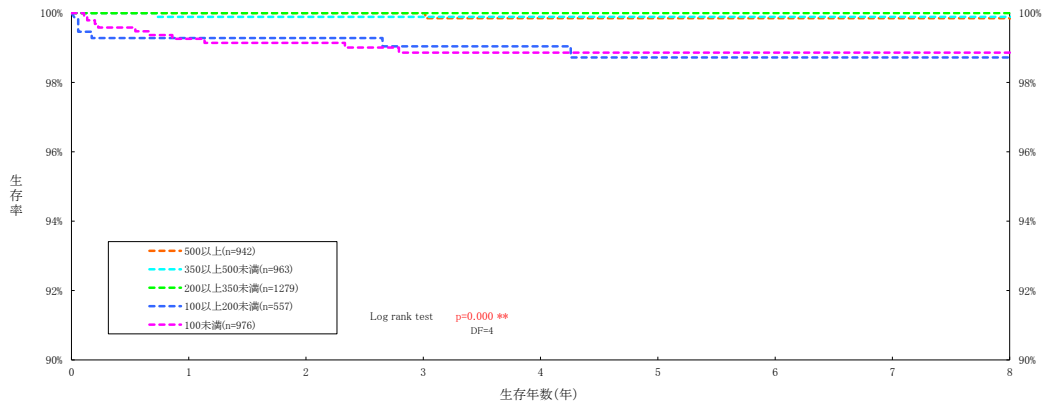
HRD共同調査生存率(AIDS指標疾患による死亡)
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2001年4月から2010年3月に治療開始した症例)



治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や
治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.261
350未満 vs 350以上	p=0.158
200未満 vs 200以上	p=0.003 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

HRD共同調査生存率(AIDS指標疾患による死亡)
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2010年4月以降に治療開始した症例)

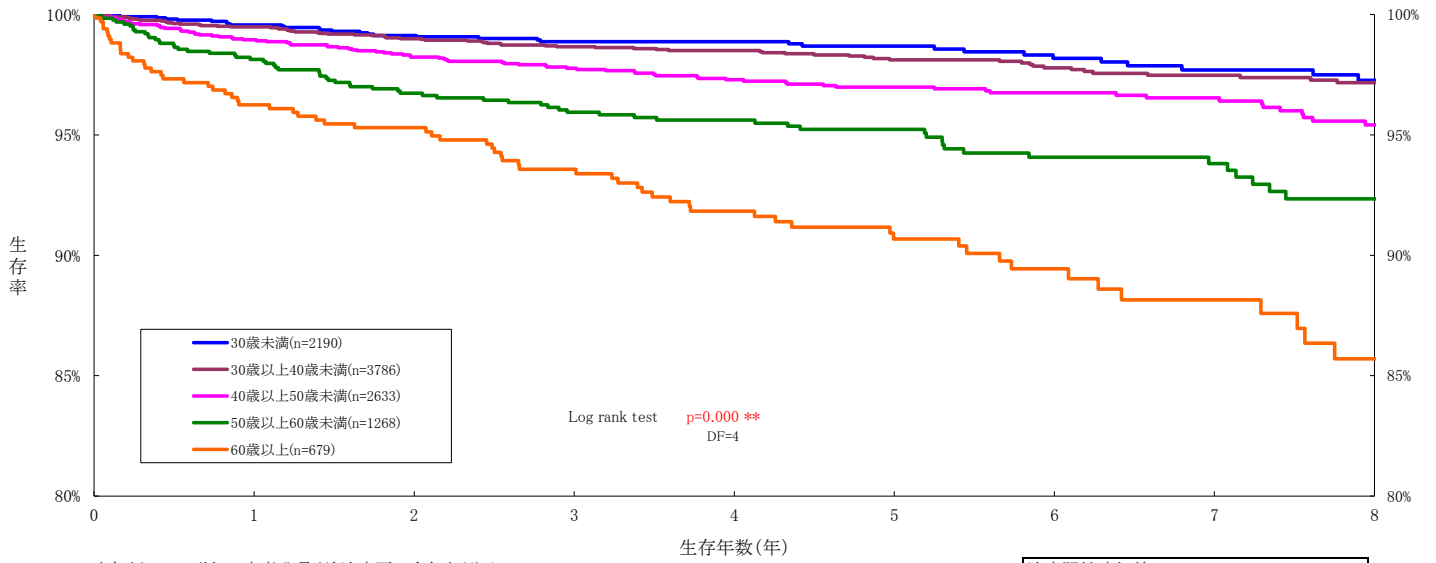


治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や
治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.115
350未満 vs 350以上	p=0.010 *
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

<調査対象全症例における治療開始時の年齢別生存率>

HRD共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(調査期間: 1997年8月から2023年3月)

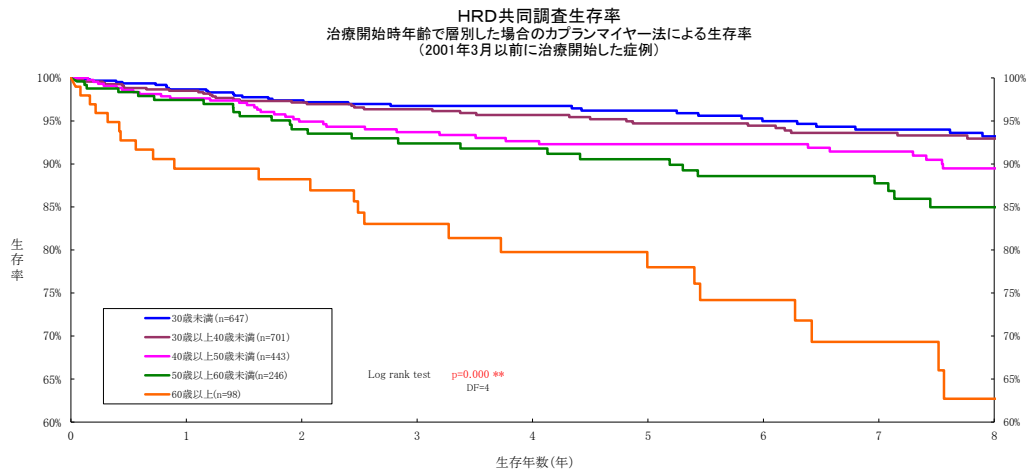


本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や
治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

治療開始時年齢	Log rank test
30歳未満 vs 30歳以上	$p=0.000^{**}$
40歳未満 vs 40歳以上	$p=0.000^{**}$
50歳未満 vs 50歳以上	$p=0.000^{**}$
60歳未満 vs 60歳以上	$p=0.000^{**}$

治療開始時年齢別の生存者数

治療開始時 年齢	生存年数								
	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
<30	2190	1913	1650	1418	1172	955	710	549	430
<40	3786	3409	3051	2724	2337	1862	1409	1058	824
<50	2633	2427	2217	1987	1720	1471	1114	785	585
<60	1268	1145	1041	926	809	669	495	353	256
60≤	679	618	568	507	442	368	253	168	124

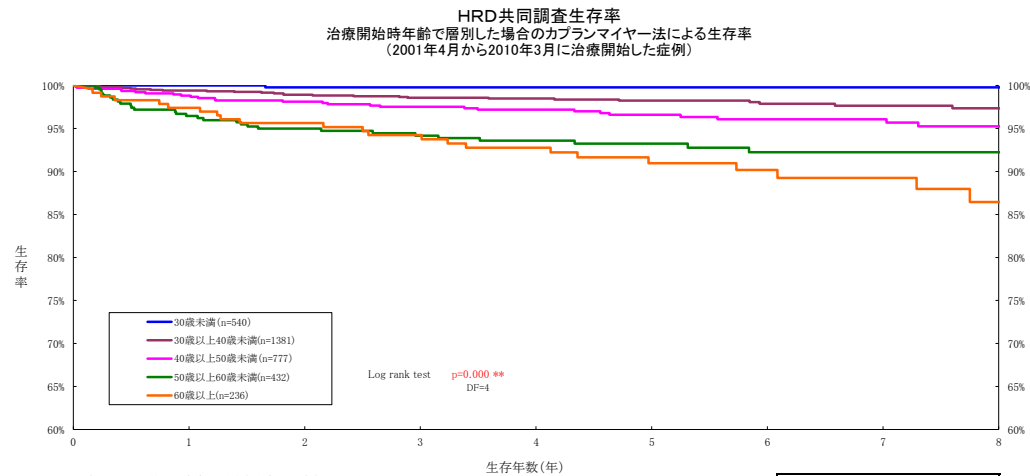


本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法構成比など)による影響は考慮していない。

治療開始時年齢	Log rank test
30歳未満 vs 30歳以上	$p=0.001^{**}$
40歳未満 vs 40歳以上	$p=0.000^{**}$
50歳未満 vs 50歳以上	$p=0.000^{**}$
60歳未満 vs 60歳以上	$p=0.000^{**}$

治療開始時年齢別の生存者数

治療開始時年齢	生存年数								
年齢	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
<30	647	563	490	405	362	333	305	273	230
<40	701	602	524	447	409	383	349	305	248
<50	443	388	333	279	261	254	232	202	168
<60	246	209	183	155	150	141	125	102	77
60≤	98	79	70	55	47	44	32	25	19

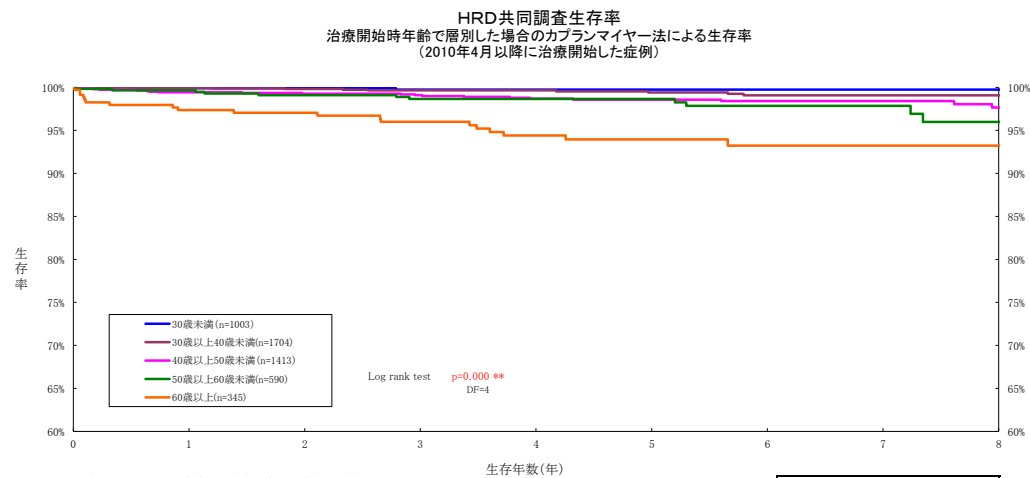


本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法構成比など)による影響は考慮していない。

治療開始時年齢	Log rank test
30歳未満 vs 30歳以上	$p=0.000^{**}$
40歳未満 vs 40歳以上	$p=0.000^{**}$
50歳未満 vs 50歳以上	$p=0.000^{**}$
60歳未満 vs 60歳以上	$p=0.000^{**}$

治療開始時年齢別の生存者数

治療開始時年齢	生存年数								
年齢	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
<30	540	491	448	401	321	240	174	118	83
<40	1381	1287	1188	1099	928	682	521	382	294
<50	777	722	673	630	537	415	329	247	180
<60	432	398	371	335	285	213	164	135	98
60≤	236	221	206	197	171	133	101	74	53



本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法構成比など)による影響は考慮していない。

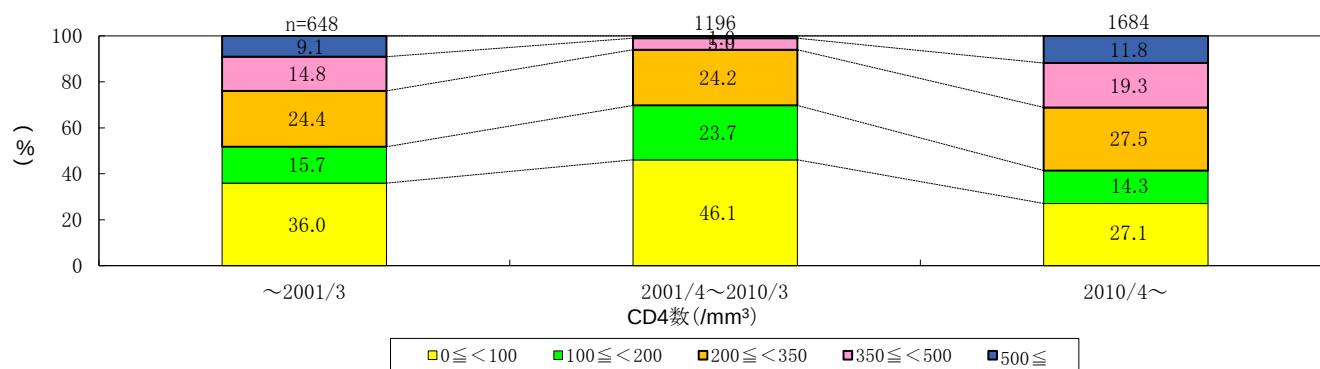
治療開始時年齢	Log rank test
30歳未満 vs 30歳以上	$p=0.003^{**}$
40歳未満 vs 40歳以上	$p=0.000^{**}$
50歳未満 vs 50歳以上	$p=0.000^{**}$
60歳未満 vs 60歳以上	$p=0.000^{**}$

治療開始時年齢別の生存者数

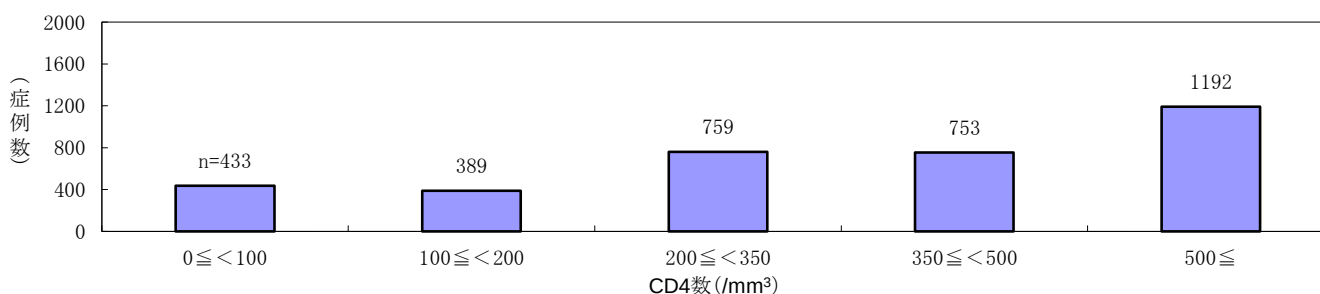
治療開始時年齢	生存年数								
年齢	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
<30	1003	839	712	612	489	382	292	158	117
<40	1704	1519	1339	1178	1000	797	539	371	282
<50	1413	1317	1211	1078	922	802	553	336	237
<60	590	538	487	436	374	315	206	116	81
60≤	345	318	292	255	224	191	120	69	52

<治療経験が無い患者(naive患者)の治療開始時のCD4数及びHIV-RNAコピー数>

治療開始時のCD4数
(調査期間: 1997年8月から2023年3月) (n=3528)



併用療法薬剤変更時のCD4数
(調査期間: 1997年8月から2023年3月) (n=3528)



※治療マーカーの数値は必ずしも現在の推奨治療域と一致しているわけではありません。

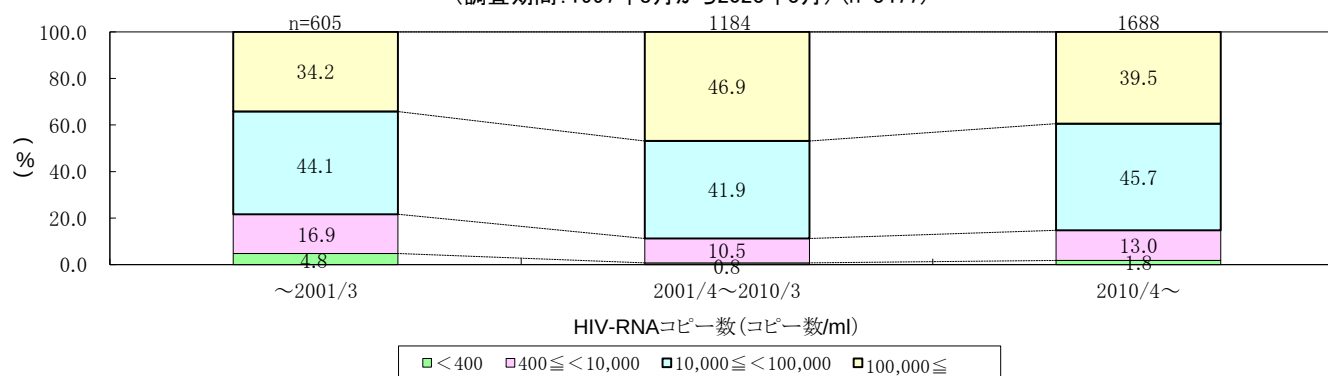
治療開始にあたっては、最新ガイドライン等を参照、若しくは専門医にご相談ください。

○ CD4数100未満で治療されている患者については、エイズ発症後に来院し治療を開始している等の要因が考えられた。

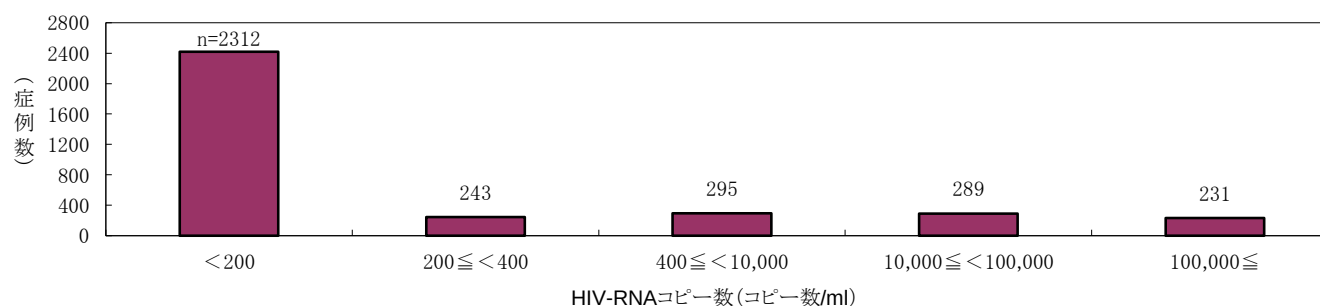
治療開始前の測定結果がある治療経験が無い患者で治療開始後薬剤の変更経験がある症例を採用した。

○ 併用療法薬剤変更時のCD4数は、治療経験が無い患者への初回処方直後の変更処方区間のみのデータを採用した。

治療開始時のHIV-RNAコピー数
(調査期間: 1997年8月から2023年3月) (n=3477)



併用療法薬剤変更時のHIV-RNAコピー数
(調査期間: 1997年8月から2023年3月) (n=3477)



※治療マーカーの数値は必ずしも現在の推奨治療域と一致しているわけではありません。

治療開始にあたっては、最新ガイドライン等を参照、若しくは専門医にご相談ください。

○ 治療開始前の測定結果がある治療経験が無い患者で治療開始後薬剤の変更経験がある症例を採用した。

○ 併用療法薬剤変更時のHIV-RNAコピー数は、治療経験が無い患者への初回処方直後の変更処方区間のみのデータを採用した。

This image shows a full page of blank handwriting practice paper. It features multiple sets of horizontal lines, each consisting of three lines: a solid top line, a dashed middle line, and a solid bottom line. These sets are repeated vertically down the entire page, providing a guide for letter height and placement. The background is white, and the lines are black. There is no text or other markings on the page.

[illegible]

This image shows a full page of blank handwriting practice paper. It features multiple sets of horizontal lines, each consisting of three parallel lines: a solid top line, a dashed middle line, and a solid bottom line. These sets are repeated vertically down the entire page, providing a guide for letter height and placement. The background is white, and the lines are black. There is no text or other markings on the page.

[illegible]

HRD 共同調査協議会のホームページ

<https://www.hrd.gr.jp/>